

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-3	政策名	生涯学習の推進	政策の 目指す姿	生涯を通して学び、広い視野 を持ち、活動しています	施策 主管課	生涯学習交流課	施策主管 課長名	市川 清志
	施策No.	2	施策名	青少年の社会教育	施策の 目指す姿	地域社会の中で、自立した青 少年が育っています	関係課名	地域づくり課		
	現状と課題	<p>・少子高齢化や核家族化が進展し、従来のような家庭、学校、地域の機能が役割が変化しつつあり、地域全体で子どもを育てるといよりは、プライベートな生活を大切にするといった風潮がみられます。そのような中で、次代を担う子ども達のためには、家庭や地域、学校等の連携による青少年の健全育成の推進が欠かせないものとなっています。</p> <p>・家庭や地域の環境が変化し、青少年の問題行動や規範意識の低下等が社会問題となっており、本市における犯罪少年及び不良行為少年数は、平成19年をピークに共に減少しているものの、平成25年はそれぞれ12人、271人が補導されています。</p> <p>・高度情報化の進展により、インターネット上で有害情報が容易に閲覧できるほか、有害図書類の自動販売機の設置など、青少年をとりまく環境は憂慮すべき状況にあります。</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

<p>(1)青少年活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年活動に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市青少年市民会議へ補助 ○体験学習の機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報の発信 ○家庭や地域における青少年の育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座開催 <p>(2)青少年を取り巻く環境の浄化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少年センターと関係機関との連携による街頭補導活動や有害環境の浄化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・少年補導委員による街頭補導活動

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
地域の行事やボランティア行事に青少年が参加していると思う市民の割合	青少年が地域の中で、行事やボランティア活動に加わるなど、地域社会の一員として育っているかどうか市民の認識の度合いを示す指標	出典:市民アンケート 問:地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年(小学生～20歳位)がよく参加していると思いますか? (1)そう思う (2)どちらかといえばそう思う (3)どちらとも言えない (4)どちらかというと思う 思わない (5)そう思わない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値				32.0	34.0	36.0
				実績値	—	29.3	30.3			
青少年の健全育成活動に関わった市民の割合	地域社会の次代を担う青少年の育成のため、地域での子どもの見守りや健全育成活動など、具体的な市民の取り組み状況を示す指標	出典:市民アンケート 問:あなたは、昨年1年間に何らかの青少年健全育成活動(子ども会、スポーツ少年団等の地域の青少年団体活動、スクールガード等)にかかわったことがありますか? (1)ある (2)ない (1)と答えた市民の割合	%	目標値				23.0	26.0	29.0
				実績値	—	23.9	19.8			

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<p>・「地域の行事やボランティア活動に青少年が参加していると思う市民の割合」は、青少年活動の推進により増加したと考えられる。</p> <p>・「地域で子どもの見守りや青少年の健全育成の手助けをしている市民の割合」は、核家族化が進展し、保護者の多忙化意識が高まっていることや社会への関わりの場が少なくなっていることから、減少したと考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	青少年健全育成事業	生涯学習交流課	B	花巻管内の非行少年件数は昨年の33人に比べて17人と大幅に減少。見える活動により防犯効果が高い。
	少年補導委員による街頭補導活動、実施回数283回、延べ補導委員数692人。			
2	青少年活動推進事業	生涯学習交流課	B	ふるさとパスポート等の利用者が目標値を上回った。成人式の満足度も高い。
	青少年体験活動を支援するとともに、関係団体へ補助を実施。成人式を開催。			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・効率的効果的に事業を行っている。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・個別化社会が進む中、子どもたちにはコミュニケーション能力の向上が求められている。
- ・核家族化が進む中、家庭教育力の向上が求められている。

(今後の方向性)

- ・子どもの頃からの交流活動や体験活動の機会を設け、人と交流する機会を設ける。
- ・家庭教育を推進するため、教育委員会と連携した事業を推進する。